

青年は町の原動力 自らを磨き高めよう～青年教育推進目標～

20歳の誓いを胸に ～令和6年「20歳の集い」～

1月7日に令和6年「20歳の集い」が文化センターさざ波で開催され、20歳の参加者62名が出席し、たくさんの保護者や来賓が見守るなか、大人としての第一歩を踏み出しました。

式典では、20歳の集い代表として久保陽菜さんが町長から記念品の贈呈を受け、松橋蓮太さんより「20歳の誓い」を宣誓。北村友輝さんから「20歳の主張」として、決意や目標を発表し、最後に平田祥太郎さんからお礼の言葉を述べていただき素晴らしい式典となりました。



式典終了後には、成人者、湧別町青年団体協議会が企画・運営する交流会としてクイズ大会などのアトラクションを実施。大いに盛り上がりを見せた交流会となりました。



記念品贈呈
久保 陽菜さん



20歳の誓い
松橋 蓮太さん



20歳の主張
北村 友輝さん



お礼のことば
平田祥太郎さん

祝 湧別町20歳の集い



少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう ～少年教育推進目標～

“休みの日、何をして楽しもう？”

湧(ゆう)ゆう湧(わ)くわく体験塾が「氷下釣り」体験に行ってきました

1月20日、湧ゆう湧くわく体験塾の10名の塾生が芭露川の河口に「氷下釣り」に行ってきました。1週間前の13日に実施の予定でしたが、悪天候のため20日へ延期となりました。湧別アウトドアクラブYU-PALの絹張会長、鈴木副会長をはじめ5名の会員による指導で、寒さに負けずに釣りを楽しみました。

この日の気温はなんと-15℃でしたが、YU-PALの皆さんがストーブを準備して、氷の穴あけや、竿の仕掛けの準備などを進めてくれました。みんな「すごい爆釣！」を期待し



ていきました。爆釣ではありませんでしたが、参加したすべての塾生がチカを釣る事が出来ました。「初めて釣れました。魚がぴくぴく引いてました。」と感想を伝えてくれた子もいました。釣れ方には波があって、釣れるときは何人かいっぺんに釣れ始めるのですが、釣れないとなるとみんなが釣れなくなります。川の流れや、潮の動きで魚が回遊しているんだそうです。釣れない時には「チカ」と「キュウリウオ」の違いやお

いしい季節などのお魚講座もありました。

釣った魚は袋に入れて持ち帰りました。みんなが釣った大切な魚きっとおしくいただいたことと思います。北海道ならではの、湧別ならではの貴重な体験を楽しむことが出来ました。

第52回新春交歓カルタ大会が行われました

1月21日に、上湧別農村センターにて第52回新春交歓カルタ大会が4年ぶりに開催され、全17名の選手が参加しました。

小学生・中学生の部では全5チームによるトーナメント戦を開催。参加者は昨年11月から実施していた百人一首教室にも参加しており、練習の成果を発揮する大会となりました。

高校生・一般の部では、人数の関係から交流戦となりましたが、気持ちの高ぶりから気合の入る声や笑い声にあふれ、百人一首を通して交流を深めることができました。



明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

ウインタースポーツが盛ん! 「氷と雪を楽しむ」

1月10日から12日までの3日間、芭露スケートリンクで「ジュニアスケート教室」が行われ25名が参加しました。初級コース、中級コース、上級コースの3つのグループに分かれ、スケート経験者の久保拓也さん（芭露）、松本桃子さん（芭露）の指導により、参加した子ども達は上達して教室を終えることができました。



スケート教室



チャレンジスポーツスクール

1月20日には、同会場でチャレンジスポーツスクール「スケート体験・氷上ホッケー」が行われ21名が参加しました。「スケート体験」では、初めてスケートを履いた子ども達が最初は椅子を支えにしながら立つのもやっとでしたが、歩く練習をしながら氷の感触を楽しみながら少しずつ滑れるまでに上達しました。その後、「氷上ホッケー」に挑戦。氷の上で足を取られながらも、ボールの取り合いに熱戦を繰り広げられ、氷と雪を楽しんでいました。

スポーツ安全保険のお知らせ

令和5年度の保険は令和6年3月31日をもって期限切れになります。加入手続きはインターネット（スポあんネット）から手続きをお願いします。

※ご不明な点はスポーツ安全協会へお問合せ願います。

固定電話からは0570-087-109／携帯電話からは03-5510-0033



芸術・文化は未来を生きるヒント 創造力と豊かな心を育てよう

親子でDIY教室が実施されました

1月14日（日）に文化センターTOMにて親子でDIY教室が小学生とその保護者を対象に開催され、全20組52名の親子が参加してくれました。

講師に柴田裕次郎さん（北兵村三区）を迎え、柴田建設株式会社の協力のもと木製の椅子作りが行われました。

参加した子どもたちは普段あまり使ったことのないのこぎりや金づちを使用し、悪戦苦闘しながらイスを完成させました。お父さんお母さんも子どもたちのおぼつかない作業を心配しながらも一緒に楽しんで制作していました。

また、ご協力頂いた柴田建設株式会社の大工のみなさんもたくさんのアドバイスを頂き、完成したイスの出来栄えに参加者のみなさんも大満足した様子でした。



高齢者は町の知恵袋 豊かな経験を地域で生かそう～高齢者教育推進目標～

チューリップ生きがい大学 講演会【～絵と共に生きて～】

チューリップ生きがい大学は1月18日、錦町在住の伊藤英二氏を講師に迎え「～絵と共に生きて～」と題して講演会を実施しました。

伊藤氏は湧別町に生まれ、湧別高校在学中に仲間とともに美術部を作りました。湧別町役場に勤務され、退職を機に独学で水彩画の技術を磨き、昨年は全国規模の美術公募展「白日会展」で最高位の「白日賞」を受賞、さらに全国最大規模の「第10回 日本美術展覧会（日展）」でも初入選を果たしました。



「北の護岸」
第10回（2023年）日展 入選



講演は、子どもの時の話、役場時代のエピソードや町民も知らない裏話から始まり、身近な話題に参加者も引きこまれていきました。ステージ上には、入選作品をはじめ15点の作品が展示され「絵を描く時の思い」や「作品にまつわるエピソード」など興味深いお話をたくさん聴く事が出来ました。



「ハレーエッセイ」 「図書館協議会委員さんのある一日」 第158回

「わが家のお片付け事情」

胸の痛むニュースと共に開けた2024年。皆様いかがお過ごしでしょうか。

まとまった休みとなった私の年末年始、家の掃除や片づけを…と意気込んだものの、結果はおそまつなものでした。断捨離という言葉も十分世の中になじんだ昨今。よそのお宅ではどのように物とつき合っていらっしゃるのか、気になるところ。

先日、図書館で借りた「親の家の片づけ」というコミックは、リアルな体験が描かれておりおもしろかったです。タイトルは「親の…」ですが、そのままわが家に当てはまる…そんな年代です。不用衣類はウエスに刻み、メルカリに出品した物の多くはそのまま在庫となっており、昨年引き取ってもらった古本の収益は、たったの26円でした。ばっさり捨ててしまえば早いと知りつつ、こんなあがきをしています。

今年の暮れまでに、どれくらい片付け進むでしょうかね。

図書館協議会委員 菊地 京子

図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう～図書館活動推進目標～

図書館は子どもたちの本との出会いを応援しています!

図書館は「第2次湧別町子どもの読書活動推進計画」(令和5～10年度)に基づき、子どもたち(0歳前からおおむね18歳)を対象に読書活動の推進に取り組んでいます。

今回は特に、乳幼児期(0歳～6歳)を対象として「ブックスタート事業」「絵本くらぶ」「読書オリエンテーション」など乳幼児期の「本に出会う」読書活動の推進を紹介します。

- 1) 乳幼児期(0歳～6歳):「本に出会う」
- 2) 小学生期(7歳～12歳):「本に親しむ」
- 3) 中学生期(12歳～15歳):「本から学ぶ」
- 4) 高校生期(16歳～18歳):「本と生きる」

「ブックスタート事業」のご紹介!

絵本をプレゼントする事業です。絵本は「赤ちゃんとおふれあうひとときを過ごす」のに最適です。町では、4カ月児健診の会場で2冊の絵本をプレゼントしています。

また、ルピナスの会(宮澤道代表)から手作りバッグのプレゼントがあります。(写真右)



「絵本くらぶ」のご紹介! (申込制)

0歳から3歳までのお子さんがいらっしゃるご家庭に、絵本を定期宅配するサービスです。ロングセラーの名作絵本を中心に、読書が楽しくなるユーモア作品も盛り込み、ご家庭で「楽しい読み聞かせの時間を過ごせる」ようバランスよく選書しています。申込制で、リーディング倶楽部たんぽぽ(小松初恵代表)から手作りバッグのプレゼントもあります。

<こんな方にオススメ>

- ・子どもにどんな絵本を選んだらいいか悩んでしまう。
- ・自分好みの絵本ばかりで、たまに違う絵本に出会いたい。

「読書オリエンテーション」「ブックスタート・プラス」のご紹介!

町の「就学時健診」の会場で、新1年生の保護者を対象に「おすすめ本リスト」の配布と、読書活動の推進について講話を実施しています。更に、この会場で絵本を1冊(写真下)プレゼントする「ブックスタート・プラス」事業を行っています。



(会場で1冊選びます。)

中湧別図書館「読み聞かせ会」のお知らせ

【日時】3月2日(土曜日) 13:30～14:00

3月16日(土曜日) 13:30～14:00

【場所】中湧別図書館 おはなしコーナー

3月の図書館休館日

3月4日(月曜日)、11日(月曜日)、18日(月曜日)、25日(月曜日)

*図書館休館日に返却される方は、玄関にあるブックポストをご利用ください。

【開館時間】10:00～18:00

【貸出冊数】ひとり何冊でも借りられます。

【連絡先】中湧別図書館 電話 2-3150
lib-n@town.yubetsu.lg.jp

【貸出期間】2週間

湧別図書館 電話 5-3122
lib-y@town.yubetsu.lg.jp

埋蔵文化財シリーズ73
自然科学分析

土器のコゲからわかること

博物館だより
—ふるさと館 JRY・郷土館—
【第169号】

現代の調理器具では鍋にコゲが付くことはあまりありませんが、遺跡で見つかる土器にはコゲが付いたものがあります。現代の科学技術でコゲを分析することで、それが元々どのような食材だったか推定することができます。シブノツナイ竪穴住居群の1,000年前の人々の食事について紹介します。

コゲのもととは海の幸、山の幸!?

土器に付着したコゲについて、その由来となった物質を推定する分析に「炭素・窒素同位体比分析」というものがあります。昨年度までに分析した5点について、結果を図1・2に示しました。

図1を見ると、測定値(●印)が海棲哺乳類・海産魚類・海産貝類(中央上部の丸枠)に位置しています。これは、コゲが海産物由来であることを示しています。図2では一番右の測定値に注目です。これはC4植物と呼ばれるアワやキビ等(右の四角枠)の影響を強く示しています。他の遺跡のデータと比べても特徴的な結果でした。

以上のことから、シブノツナイで見つかった土器は「海産物を中心に、雑穀も少々煮炊することに使われた」と推測できます。なぜ、他の遺跡にはあまりない雑穀の影響が確認できたのでしょうか。畑が近くにあったのか、それとも交易で手に入れたのか残念ながらまだ理由はわかりませんが、少しずつシブノツナイの1,000年前の暮らしの一端が明らかになってきています。今後の調査成果にもご期待ください!

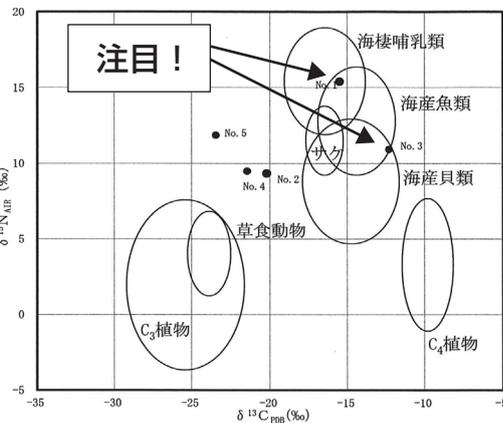


図1 炭素・窒素同位体比

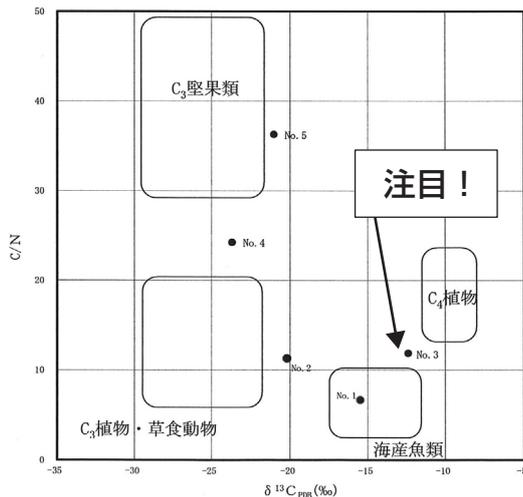


図2 炭素安定同位体比と炭素 / 窒素比の関係



写真 土器での調理実験の様子

左の写真は、土器で調理実験を行った時のものです。海産物と野菜を入れた鍋料理はもちろん、お米もしっかり炊けて美味しく食べられました。

*炭素・窒素同位体比分析は(株)パレオ・ラボに委託

湧別町生涯学習情報「湧く湧く」2024年2月号 No.169

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課 〒099-6404 北海道紋別郡湧別町栄町 219-1
<https://www.town.yubetsu.lg.jp/>

印刷…中湧別印刷(中湧別南町)発行…令和6年2月26日

記事へのお問い合わせは下記へ

- * 社会教育課社会教育グループ…電話：01586-5-3132 FAX：01586-5-3710
メール：shakyo@town.yubetsu.lg.jp
- * 湧別図書館……………電話：01586-5-3122 FAX：01586-5-3256
- * 中湧別図書館……………電話：01586-2-3150 FAX：01586-2-3190
- * ふるさと館 JRY……………電話：01586-2-3000 FAX：01586-2-3200